

協議会への期待



(株)めぐみ堂・(株)シェルター
代表取締役社長

西本 誠一郎

伝える者がなくては、どうして聞く事が出来るであろうか！ 自分でもし福音と出会ってなかったらどんな人生を送ったであろうか！ 思い起こすだけで恐ろしくなります。

私が十歳の時、父が天然痘にかかり感染を恐れた当局から目の前で毒薬を良薬と偽り毒殺されました。豊かであった家庭は変じ、十人の子供を育てる母の苦悩の姿を見乍ら暗い家庭で育ち、劣等感と精神分裂になつていた青年時代、冊の本との出会でフリーメソ日本橋教会を訪ね、不動の創造者なる唯の神を知り、聖書の中に真理を求め続け、あらゆる教派を越えて今日まで五十年一度も礼拝を休むことなく、恵みとして守ってきました。神はあえて無きに等しき者を選ばれた！とは私の事と思つています。「私は裸で母の胎を出た又裸でかきこに帰る」との御言葉に立つて将来小さくても教会を建て、かつての自分のような人々を十字架に導きたいと二十五歳で独立を決意し、囲碁将棋のメーカーとして神の前に祈り、目標をしっかりと与えられ毎日潜在意識の中に祈りと共に日本一のメーカーになる事を自己宣言し、十年で業界になりました。

日経新聞、四大紙又NHKや日本の社長、ユースステーション、世界のタイム等にも紹介され、(株)シェルターと共に多くのメディアに取り上げられ、それが伝道に大きく役立っています。

今この原稿を浜松の展示会場で書いていますが、朝からNHKで放送され、午後には静岡新聞他三社位取材に来ます。囲碁の伝統の技を公開しているからです。私は求道中から今日迄、毎日トラクトを配り、展示会場でも来会者全員にトラクトを配つて伝道の場としています。「毎日が伝道」とキリスト新聞に半年間記事になり、それが本となつています。また直木賞作家笹倉明氏により「聖書を旅した商人」と題して小説となり、全国の書店で売られて三万部を越えました。またユーライフ新生運動発行の大型トラクトは四〇万部を越えて全国で活用されました。ホテルのフロントで、コンビニで、タクシーの中で、二期会の人々に常にトラクトを毎日配り、一言の証しをしています。また特伝や礼拝、少年院、刑務所、ホームレス、ロータリー、商工会議所と年間三〇回以上証しと講演の場が与えられ、今年からはシンガポールに本社のある世界中にネットで伝える講演会社から「真の幸福とは心・体・経済の健康のバランスである」とのテーマで私が心の分野で選ばれ、世界五十五カ国語に今翻訳中で、やがてそれらの国に放映されます。

「ヤベツの祈り」の平野耕一牧師の特伝時に取材されました。また長男が今年神学校を卒業し、献身して牧者となります。これを機会に長年の夢でありました開拓

伝道に、大阪羽曳野市の地でカナンミッショセンターとしてスタートします。即今年月から三月迄に今迄導いていた方四人が洗礼を受けました。塩屋神学校を出た高村師と共に日本橋から開拓伝道に出て、四十年の教会の使命を終わりに、新しく家族及び同志と共に開拓伝道に入ります。信徒伝道者として経営者の発想にもつき、思い切った発想で福音に導くためには、あらゆる方法を、ゴスペル、子供ダンス、子育て悩み相談、健康カフェ等計画して、三百坪近い場所を借りて教派を越えて自由に福音を伝える喜びに心は熱くなつています。私は「伝道せずにはおられない」との題で前年十一月号の「恵みの雨」(新生宣教師団の月刊紙)に紹介されましたが、私は「信徒として囲碁将棋の(株)めぐみ堂毎週全国展示会に出張し、また聖書の預言によつて未信者の生命を守るために四十年前にシェルターの普及の使命を持ち、(株)シェルターとして二つの会社の経営をし乍ら全国に証しと講演を行ってきました。その目的は唯一つ福音を知らない苦しむ人々を天国へ十字架へ本物の唯一の神を紹介するためです。私が今日このような文章を先に記しました理由は、牧者でもない多忙な信徒でも伝道の心があれば、誰でも出来る事を知つて戴き、実行して戴きたいのです。私は今日迄長年北海道から沖縄まで数多くの教会で証しをし、また礼拝に出席し、何故教会は二五〇周年を迎えた今も%の壁を突き破れないのかと五〇年間も心と心を痛めてきました。神学や教派の非難をしてはばらばらの現状では、天の神は涙し

ているでしょう。VIPの市村兄とは独身の頃からの友であり、VIPのルーツでもあるキリスト社会人伝道会が四〇年前に同じ理念に立つて立ち上げました。その後CBMCの初代会長としてアジア大会長として大役を果たし、未熟な者乍ら、私は肩書きや会議会議よりも直接未信者に伝える事を中心に今日迄生きてきました。七十歳をこえた残る生涯、伝道に全てをかける決意の時に、主のお導きにより日本民族総福音化運動協議会と出会い、しかも手東先生の教会は三十歳位の頃特伝に招かれ、毎年教役者大会でお会いし、また三谷先生は長年の信仰の友として私の事業や講演の推薦者としてお名前を戴き、さらに神は小沢利夫大兄という創価学会また幸福の科学の幹部として布教に全てをかけて来、娘まいかさんを通して本物の神と出会った喜びとは裏腹に、本物の神を信じる教会の信徒又リーダーの中で、部の熱心な方は別として、余りの伝道心のなさ一致協力のなさに、私との出会いを喜び、東京帝国ホテルで初めて会見したときに手を震わせながら握手し、三時間熱心に語り合いました。私は日本の神学校からリーダー信徒に至るまで、使徒行伝の原点に帰つて、大革命を起し、二セ物の生活習慣宗教に立ち向かつて、また世界的恐慌の時代、心も命もサタンに振り回されている人々を救うために、日本民族のために、世界宣教のスタートをされた奥山実先生が残る生涯をこの日本民族の救霊のために同志と共に、熱く燃え尽きて天に帰つて戴きたいと願う者の一人です。